

【クラブ活動報告】

地域興しのための講演会

河内長野東ロータリークラブ

河内長野東ロータリークラブは、令和4年11月19日、宮本勝浩 大阪府立大学及び関西大学の名誉教授による「南河内地域の発展の可能性について」と題する講演会を、高野山真言宗の遺跡本山「檜尾山観心寺」の恩賜講堂(昭和天皇即位時の饗応殿の一部を移設した建物)において開催しました。



河内長野市の人口は、最大であった平成12年に122,740人であったのが、令和4年10月現在100,676人に減少、来年度は10万人を切ると予想される。南河内地域の産業振興、それを支える人口増加について、官民挙げて知恵を絞り、かつ努力を傾注しないと、遠くない将来、少なくない数の村々が消滅していく恐れがあります。

講演会には、総勢約20名の当クラブ員の他、近隣ロータリークラブの会員、市内で事業を営む方々等、一般市民も約60人が参加されて、約1時間30分に亘る宮本勝浩名誉教授の講演を熱心に傾聴しました。

宮本勝浩 名誉教授は、南河内地域の観光名所、特産品等に言及された上で、地域活性化の方策について、①IT先進地域にすること、②企業の育成、誘致、人口流出の阻止、③訪日外国人の呼び込み、④独創的商品の開発等のキーワードを用いて説明されました。そして、最後に、松下幸之助、吉本興業の元会長 中邨秀雄らの言葉を引用されながら、①事業の成功には運が大切なこと、②運を掴むには運の良い人と付き合うことが大切なことに言及されたが、それは私心なく事業に専念すること、その様な人を範とすることの重要性を説かれたものと思われます。



非常に興味深い講演会であり、退席される宮本勝浩 名誉教授には盛大な拍手が送られました。



中尾 会長

